

使用済みEV電池を用いた蓄電池システムの実証試験開始

2024年5月23日
関西電力株式会社
東京センチュリー株式会社

関西電力株式会社（以下、関西電力）と東京センチュリー株式会社（以下、東京センチュリー）は、使用済みEV電池（以下、「EVリユース電池」）を用いた蓄電池システムの実証試験（以下、「本実証」）を開始しました。

本実証は、2023年1月に締結したEVリユース電池の活用に係る業務提携の一環として行うものです。東京センチュリーがEVリユース電池を調達し、関西電力が尼崎実験センター（兵庫県）の敷地内に蓄電池システム（出力100kW／容量約300kWh）の構築を行い、本日完成しております。

本実証により、定置型蓄電池システムの運用、保守等のノウハウを蓄積するとともに、システムの拡張・商用化に向けた課題の抽出と解決策の検討を進めてまいります。

<蓄電池システムの外観と概要>



設置場所	関西電力尼崎実験センター内 住所：兵庫県尼崎市若王寺3丁目11-20
実証開始時期	2024年5月
出力/容量	100kW／約300kWh
コンテナ寸法	幅6, 850mm×奥行2, 400mm×高さ2, 800mm
使用電池の種類	リチウムイオン電池 2種

東京センチュリーはグループ会社を通じて法人・個人向けオートリースやレンタカーなどのモビリティサービスを展開しており、EVおよびその周辺ビジネスなどの次世代領域を「将来の成長領域」と位置づけています。本実証を通じて、EVを起点とした蓄電池事業の展開ならびに関連サービスの創出を推進いたします。

関西電力は電力事業での知見を活用し、蓄電池関連事業へ参入しており、電力需給の安定化や再生可能エネルギーの更なる導入加速の支援を推進いたします。

両社は、より多くの事業者に蓄電池を導入できる環境の整備に注力し、持続可能な循環型社会、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

<ご参考>

電動車の使用済み電池利活用に係る業務提携契約の締結
(2023年1月27日付)

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8439/tdnet/2225453/00.pdf>

使用済みEV電池を用いた蓄電池システムの共同研究の開始およびバッテリー
取り外し済みのEV車体を再活用可能なパートナーの募集
(2023年9月13日付)

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8439/tdnet/2336868/00.pdf>

以 上